

# ついてお知らせします。

## 平成24年度 会計別決算額 [△はマイナスを表します。]

(単位：万円)

会計名	歳入 A	歳出 B	差引 C = A - B	繰越額 D	実質収支額 E = C - D	単年度 収支額	前年度 実質収支額	
一般会計	133億1,456	127億2,448	5億9,008	3,144	5億5,864	2億4,860	3億1,004	
特別会計	国民健康保険	38億1,052	40億9,198	△2億8,146	0	△2億8,146	△1億48	△1億8,098
	学校給食費	9,086	9,108	△22	0	△22	△7	△15
	国民宿舎葛城高原ロッジ	9,876	9,808	68	0	68	6	62
	下水道事業	7億2,641	7億2,614	27	27	0	0	0
	介護保険事業	30億7,271	30億6,261	1,010		1,010	△1,315	2,325
	後期高齢者医療保険事業	3億4,534	3億4,497	37	0	37	37	0

会計名	収入 A	支出 B	当年度純利益 C = A - B	当年度未処理 欠損金	前年度 繰越欠損金
水道事業会計 (収益的収支)	8億7,366	8億6,185	1,181	1億1,551	1億2,732

※水道事業会計については、収益的収支（消費税を除く）

### ■特別会計・企業会計■

特定の事業を行い、一般会計とは別に会計を行うのが特別会計です。

また、企業会計とは経済活動を一定の方式によって行う会計で、御所市では水道事業会計がこれにあたります。

## 平成24年度 一般会計決算

歳入	歳出	翌年度に 繰り越すべき財源	実質収支額
133億1,456万円	127億2,448万円	3,144万円	= 5億5,864万円

### ▶▶ 決算額を市民一人あたりで見ると ◀◀

平成24年度一般会計決算額を、住民基本台帳人口2万9,079人（平成25年3月31日現在）で割り、市民一人あたりの収入と市税負担額、かかった経費（支出）を算出しました。



収入	45万7,875円	(内、市税負担額10万5,598円)
支出 【経費】	43万7,583円	(内訳)
		民生費 14万9,602円
		公債費 7万8,291円
		総務費 7万7,655円
		衛生費 4万7,766円
		土木費 2万8,603円
		教育費 2万6,321円
		消防費 1万5,651円
		その他 1万3,694円

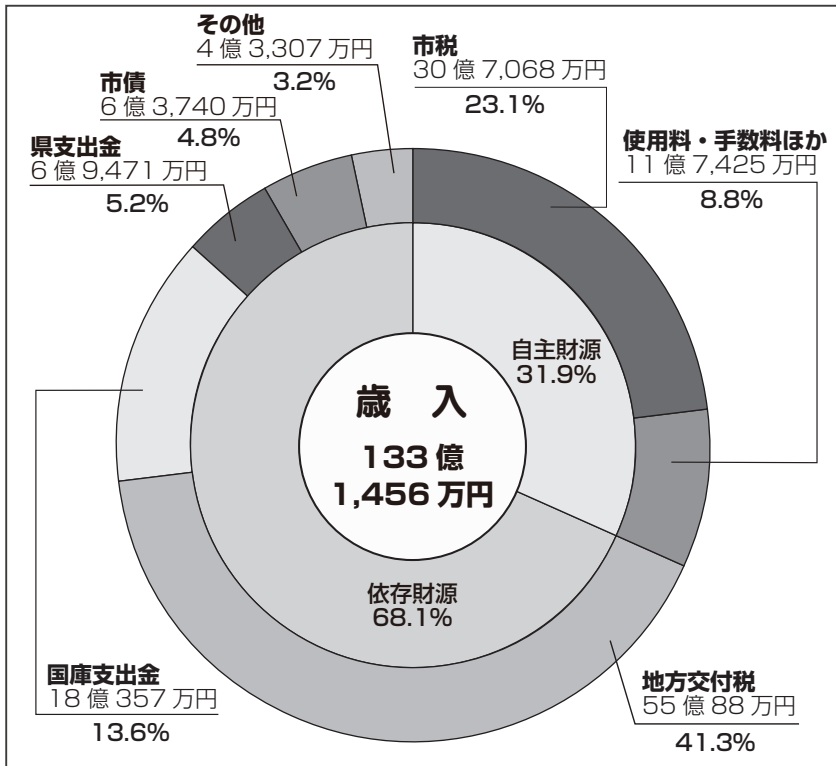
決算の概要は、御所市のホームページでもご覧いただけます。

☞ <http://www.city.gose.nara.jp/gyousei/zaisei/>

平成24年度（平成24年4月～平成25年3月）の市の決算状況をお知らせします。

# 「平成24年度決算」に

一般会計決算 歳入総額 133億1,456万円



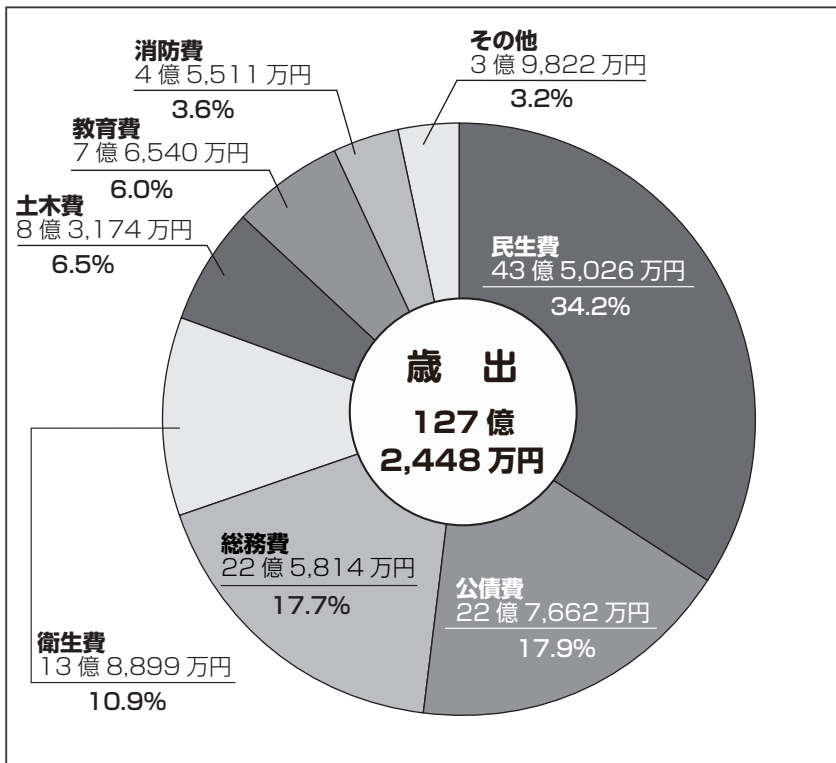
## ◎歳入

…市に入ったお金 (収入)

- 市税…市に納めていただいた税金
- 地方交付税…国が徴収した税金 (所得税など) の中から市の財政状況に応じて交付されたお金
- 国庫支出金・県支出金…市が行った特定の事業に対して国や県から受けたお金
- 市債…大きな事業を行うときに、国、県及び金融機関などから借り入れたお金

☆自主財源…市が自主的に収入できたお金  
 ☆依存財源…国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりしたお金

一般会計決算 歳出総額 127億2,448万円



## ◎歳出

…市が使ったお金 (支出)

- 民生費…高齢者、障害者、児童などの医療・福祉などに使ったお金
- 公債費…市債 (借金) を返済するために支払ったお金
- 総務費…市役所の管理運営、課税徴収、住民窓口、選挙、統計などの事務に使ったお金
- 衛生費…保健衛生、健康管理、ゴミ処理などの生活環境に使ったお金
- 土木費…道路、公園、市営住宅などの整備や事務に使ったお金
- 教育費…小・中学校、幼稚園、社会教育、文化施設などに使ったお金
- 消防費…消防・防災活動に使ったお金

問い合わせ先

行革財政課

62・3001

内線2322・2333

# 平成24年度（一般会計）決算の概要

平成24年度の一般会計歳入額は133億1,456万円、歳出額は127億2,448万円、実質収支額が5億5,864万円となり、平成23年度に続き2年連続の黒字となりました。平成23年度との比較では、歳入は地方交付税等の増加はあったものの市税等の減少により約4億1,353万円の減額となりました。歳出は基金積立金の増加等がありましたが、人件費や公債費等の減少により、6億2,719万円の減額となりました。

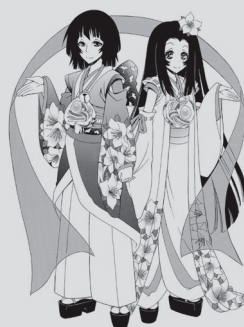
しかし、未だ強固な財政基盤が構築されたとは言い難く、特に自主財源の代表である市税については、徴収率が過去最高となりましたが、固定資産税の評価替え等の影響により調定額が減少したため、平成23年度と比較すると約7,100万円の減額となっています。

今後も引き続き安定した財政運営に向けて取り組みを進めていきますので、市民のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

## 実施した主な事業

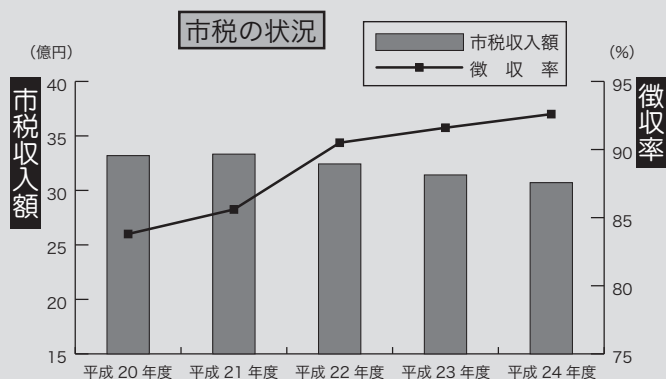
平成24年度（一般会計）に実施した主な事業は、右記のとおりです。

○臨時観光バス運行事業	357万円
○新婚世帯家賃補助事業	164万円
○市民まちおこし事業「みんなの夢事業」 実施事業「GOSE夢絵本プロジェクト」 採択事業「葛城山“こんかつ”登山」	90万円
○有害鳥獣対策事業	794万円
○森林とのふれあい推進事業	1,000万円
○自主防災組織設立補助	170万円
○学童保育所整備事業	109万円
○がん検診推進事業	335万円



イラスト・弁天

## 市税の状況（過去5年間）

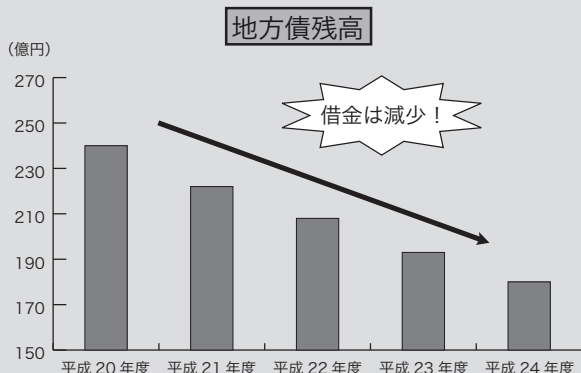


市税徴収率については、過去最高の92.6%となっています。しかし、固定資産税の評価替え等の影響により、市税収入額は平成23年度よりも7,100万円減少しました。

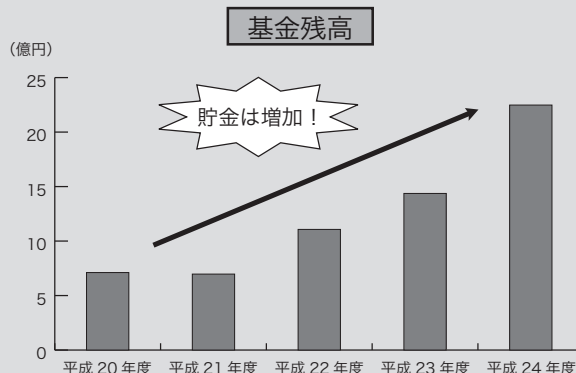


(C)MPC

## 一般会計地方債残高及び基金残高の状況（過去5年間）



市の借金である地方債（市債）は、平成23年度末で193億70万円ありましたが、19億2,530万円を返済し、新たに6億3,740万円を借入したため、平成24年度末で180億1,280万円となりました。



市の貯金である基金は、平成23年度末で14億3,735万円ありましたが、8億2,638万円を積み立て、1,541万円を取り崩したため、平成24年度末で22億4,832万円となりました。